

# 「産油国ネットワーク会議」開催

## 1. 会議の目的

2012年11月、第1回産油国ネットワーク会議を開催しました。この会議の目的は、① JCCP が実施している人材育成事業および技術協力事業について、産油国側での効果や評価を確認し、今後の効果的な事業運営に役立てると共に、日本との人的交流を強固なものとする、② JCCP 事業活動への継続的な支援協力を要請し、産油国側において JCCP を通じた当該国とのネットワークの構築によって、日本との関係強化を更に促進する、③ 研修卒業生には、産油国各国の石油公社の幹部や責任者になっている人材も多いため、日本の原油供給の輸入の安定化に資すること、以上の3点です。



開会の挨拶（佐瀬専務理事）

## 2. UAE を選定した理由

本年度は UAE（アラブ首長国連邦）で開催しました。その理由として、① 日本の原油輸入量第2位であり、天然ガス輸入量第4位（2011年現在）と最重要国の一つである、② 日本が油田権益を保有する産油国である、③ 研修卒業生が650名を超え（2012年9月末現在、複数回参加者を含む）、現在、関連会社を含む国営石油会社の要職に就いている卒業生の比率が他国と比べて高い、以上の3点が挙げられます。

## 3. 研修生ネットワーク会議の開催

第一に、アブダビ国営石油会社（ADNOC : Abu Dhabi National Oil Company）およびアブダビ石油精製会社（TAKREER : Abu Dhabi Oil Refining Company）の人材育成部局責任者との会議を実施致しました。その中で挙げられた JCCP 研修への要望として、① 更に多くのカスタマイズド研修をアブダビで行ってほしい、② 日本のマーケットにおける取引慣習に深く関わっている日本特有の儀礼・典礼や、そ

れらの基盤となっている日本固有の風土・文化等について理解できるようなプログラム（特にコミュニケーション能力や、異文化経済圏の取引関係・交渉における実務能力の向上につながる内容、例えば財務）を期待したい、という意見が寄せられました。

第二に、UAE 側との要人とのディスカッションを実施し、今後の JCCP 事業に対する要望と期待を伺いました。ADNOC のスルタン アーメッド アル・メハイリ販売執行取締役（Mr. Sultan Ahmed Ajlan Al-Mehairi, Director Marketing & Refining, 89年受講）との面談において、「UAE としてこれまでの JCCP の協力に感謝しており数々の成果を上げていること及び今後の協力継続について大いに期待している」旨表明がありました。また、TAKREER のヤセム アリ アル・サエグ社長（Mr. Jasem Ali Al-Sayegh, CEO, 89年受講）との面談では、「人材育成事業の効果を始め、技術協力事業にも感謝しており、製油所の廃水事業や太陽光事業についても非常に興味がある。環境や省エネに関する事業は進めて欲しい」との要望がありました。更にマイサ セイラム アル・シャムシ国務大臣（H.E. Dr. Maitha Salem Al Shamsi, Minister of State）との面談では、「JCCP は UAE で数々の実績を残しているが、今後は UAE 大学以外でも、例えばアブダビ大学とも技術協力を進めてほしい」とのコメントをそれぞれ頂戴しました。

第三に、今回の事業の一環として研修卒業生から回収したアンケートを分析したところ、現在の業務に大変役に立っているという回答が88.2%を占めました。具体的な研修の内容については、実地研修（本社・製油所等）が44.8%、歴史・文化研修が31.1%、JCCP 本部での講義が24.1%の順番になりました。技術協力に関して興味がある分野は、品質のコントロール、省エネルギー、排水処理、再生可能エネルギーといった点が目立ちました。

## 4. 同窓会の開催

2012年11月28日、アブダビ市内のビーチロタナホテルにおいて同窓会を開催致しました。UAE の研修卒業生を対象に幅広く参加を呼びかけた結果、同窓会に参加した総数は、UAE 側関係者110名、日本側関係者40名、計150名に達しました。

UAE 側からは多くの要人がご出席くださいました。

### TAKREER

ヤセム アル・サエグ社長

（Mr. Jasem Ali Al-Sayegh, CEO, 89年受講）

イスマイル アル・ムーラ副社長

（Mr. Ismail Al Mulla, Senior Vice President, 89年受講）

NGSCO (天然ガス輸送会社) 兼  
ADNATCO (アブダビ国営タンカー会社)  
アリ オバイド アル・ヤブーニ 社長  
(Mr. Ali Obaid Al-Yabhouni, CEO、97年受講)

ChemWEyaat (アブダビ国営化学会社)  
モハメッド アブデュラ アル・アズディ 社長  
(Mr. Mohamed Abdulla Al Azdi, CEO、83年受講)

ADNOC DISTRIBUTION  
アブドゥラ セイラム アル・ダーヘリ マネジャー  
(Mr. Abudulla Salem Al Dhaheri, General Manager、  
95 受講)

UAE 大学  
ナビル イブラヒム学長  
(Dr. Nabil A. Ibrahim, Chancellor)  
レヤド アルメハイデブ工学部長  
(Dr. Reyadh A. Almehaideb, Dean of Engineering)



サエグ社長 (右)



JCCP 卒業生の皆さん

現在、主要部門で活躍の方々も大勢集まり、皆 JCCP を懐かしがって下さり、彼ら全員が研修の内容だけではなく、歴史や文化を含めた日本自体に好印象を抱いていました。そして「機会があれば日本を訪れるだけではなく、JCCP の研修をもう一度受けてみたい」とコメントして下さいました。

日本側からは、加茂日本国大使を始め大使館関係者、および在 UAE 日系石油企業関係者が参加されました。JCCP からは佐瀬専務理事、吉田常務理事をはじめ関係の幹部が参加しました。加茂日本国大使からは、「このような機会を通して、UAE と日本の相互理解がより深まれば素晴らしい」とのコメントを頂戴しました。

同窓会の進行は、日本舞踊の披露や生け花の展示、および日本食の提供といった日本文化の紹介を含めて開催しました。

## 5. まとめ

今回の研修生ネットワーク会議で得られた成果としては、以下の2点があります。

第一に ADNOC および TAKREER 等の人材育成部局責任者との会議を通して、UAE 側のニーズをより正確に掴むことができました。UAE 側からは沢山の要望が出されたので、それらにすべて応えることは不可能にしても、受講する側のニーズを少しでも今後の研修内容に反映させることができると考えます。

第二に UAE 側から多数の卒業生が同窓会に参加されたことから、UAE における JCCP のプレゼンスの高さ、そして日本への関心の高さを感じました。また UAE と日本のみならず、UAE 国内でのネットワークの構築、および交流の強化につながったと思います。

JCCP としては、今後も産油国でネットワーク会議を予定しておりますので、それを通して各国のニーズを掴み、日本および JCCP のプレゼンスの向上に寄与できればと考えております。  
(総務部 井上 浩輔)



JCCP 卒業生の皆さん